



2022年度事業報告

公益財団法人 名古屋YWCA

名古屋市中区新栄町2丁目3番地

TEL:(052)961-7707 FAX:(052)961-7719

E-mail:office@nagoya-ywca.or.jp

目次

* 2022年度をふりかえって	1
* 名古屋YWCA事業の目的と概要、基本方針	2
I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業	3
ボランティア事業	
1. 平和・人権・国際・環境等社会の課題についての学習及び普及啓発と人材養成事業	
2. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業	
3. 子どもや青少年の健全な心身の育成に資する事業	
4. ボランティア養成事業	
5. その他	
II 個別相談等を通じて女性を支援する事業	8
女性のための相談・支援事業	
名古屋市困難を抱える女性のつながりサポート事業「ナゴ女*つながーる」	
III 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業	15
1. 語学・教育事業	
2. 個別に配慮が必要な子どもを支援する事業	
IV 日本語教師を養成する事業	16
1. 日本語教師養成事業	
2. 日本に住む外国人の子どもを支援する事業	
3. 日本に住む外国人生活者を支援する事業	
V 日本語学校を運営する事業	21
日本語学校事業	
VI 不動産賃貸等事業	23
不動産賃貸事業	
VII その他この法人の目的を達するために必要な事業	23
■事業の目的を達成するために以下の機関を置く	
評議員会 理事会 人事委員会 新聞委員会 広報ファンドレイジング委員会	
会館管理委員会 コンプライアンス委員会	
■会員・会友・賛助会員・寄付・助成金など	
■世界YWCA・日本YWCA他	
* 隣接ビルの解体工事	34
* 公益財団法人名古屋YWCA組織図	36
* 貸借対照表	37
* 正味財産増減計算書	38

2022年度をふりかえって

新型コロナウイルス感染症が世界を覆いつくしてから3年目となった2022年、変異株による感染の「波」に揺れながらも、コロナ感染対策や規制が大幅に緩和されました。名古屋YWCAでは、少しずつ活動の幅を拡げ、活動、事業に光が差し込んだ1年となりました。何より、人と直に顔を合わせて話すことのできる喜びが会館に溢れ、日常がいかに尊いものであるかを教えてくれました。

名古屋YWCAは、2023年2月14日に90周年を迎えました。諸先輩が手から手へと繋いできたYWCAという糸を2022年度もまた紡ぐことができたことに感謝しつつ、以下に5つの公益事業と1つの収益事業を振り返ります。

- I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業：路上生活者への配食、ユースによる沖縄スタディツアー、2.11平和集会を継続しました。福島を家族を対象とした保養プログラムを行い、2011年から行っている東日本大震災支援を締めくくりました。
- II 個別相談等を通じて女性を支援する事業：カウンセリング、ワークショップ、DV被害女性や親子のための支援プログラムを継続しました。名古屋市から「困難を抱える女性のつながりサポート業務」を受託し、女性だけの安心できる居場所を提供しました。
- III 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業：若い年代向けの高度な英語クラスや、資格取得クラスに多くの参加がありました。また「子どもの発達障がい学ぶ」支援者のためのプログラムを開催しました。
- IV 日本語教師を養成する事業：1年で修了できる講座を開講し、多くの受講生を集めました。また難民に対する日本語教育、愛知県初期日本語教育モデル事業等を受託しました。外国人の子ども学習支援は、増え続ける子どもたちに対応し、急遽クラスを増設しました。
- V 日本語学校を運営する事業：外国人の入国制限が緩和され、学生が戻ってきました。地域社会で使える日本語の習得を目指し、多様な連携プログラムを行いました。また奨学金基金では、給付型奨学金の他、難民奨学金を3名に給付し、学生の学びを支えました。
- VII 不動産賃貸事業—長期修繕計画に従って、LED工事、受変電設備更新工事を行いました。隣接ビル解体工事への対応に追われました。テナントは、全フロア満室です。

「私たちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」

コリントの信徒への手紙二 4章18節

世界に目を向けるとロシアによるウクライナ侵攻が泥沼化し、寄る辺ない人々が溢れています。国内では、ウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射、米中対立などに理由に、「安保三文書」が閣議決定され、平和主義が脅かされています。このような時だからこそ、「目に見えなくとも大切なこと」を心に留め、活動・事業を続けていく私たちでありたいと願います。

90年の節目を越え、100周年へと歩み始めた2022年度、名古屋YWCAを変わずお支えくださり、深く御礼申し上げます。そして新年度もまた、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局長 西田文乃

<事業の目的と概要>

この法人は、キリスト教の基盤に立ち、女性及び青少年のリーダーシップを育て、持続可能な社会を創造し、すべての人にとっての正義と平和を実現することを目的とする。
(定款第3条、第4条より)

- (1) 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業
- (2) 個別相談等を通じて女性を支援する事業
- (3) 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業
- (4) 日本語教師を養成する事業
- (5) 日本語学校を運営する事業
- (6) 不動産賃貸等事業
- (7) その他この法人の目的を達するために必要な事業

<基本方針>

キリスト教基盤に立ち、共に生きる平和な社会を実現する

I 女性及び青少年のリーダーシップを育成する事業

ボランティア事業

1. 平和・人権・国際・環境等社会の課題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

(1) 社会の課題解決のために働く人材を養成する事業

- ・名古屋YWCAが依拠するキリスト教基盤の価値観を学ぶために読書会を実施した。遠藤周作生誕100周年ということもあり、参加者が増加した。
- ・キリスト教基盤についてのお話会を行った。和田芳子牧師（東海教会）の「共に生きるために」と題した話と、関連した活動として名古屋市委託事業で行った女性のつながりサポート「ナゴ女＊つながー」を紹介した。
- ・名古屋YMCAと共に合同祈祷週のプログラムを行った。礼拝ではテーマである「IGNITE（火をつける）」について、草地大作牧師（名古屋中央教会）から「虹に示す希望」というメッセージを受けた。その後会場とオンライン参加も含めた交流を行い、YWCAとYMCAの活動紹介を行った。
- ・クリスマスに礼拝とミニコンサートをを行った。
- ・平和集会は会場とオンラインのハイブリッド形式で行い、講師による講演の後、講師と若者とのディスカッションを行った。

【プログラム】

活動名	主催	ゲスト／講師	実施日	参加延人数
キリスト教基盤読書会 『深い河』 『日本人にとってキリスト教とは何か 遠藤周作「深い河」から考える』	キリスト教基盤部会	—————	4/19、5/17、 6/21、7/19、 9/20、10/18、 11/15、1/17、 2/21、3/14	88 (6)
共に生きるために	キリスト教基盤部会	和田芳子	6/25	7 (2)
YWCA—YMCA合同祈祷週集会 「虹に示す希望」	キリスト教基盤部会	草地大作	11/19	21 (4)
クリスマスとともに 第2部:原順子(歌) 宮脇万里子(ピアノ)	キリスト教基盤部会	川崎理子	12/10	42
サイレント・ピースアクション	キリスト教基盤部会	—————	12/10	10
2.11平和集会 「民主主義の未来 不断の努力により保持する権利と自由」	2.11 平和集会実行 委員会	清末愛砂 <登壇者> クム・カエマ リー、諸岡えみ	2/11	53 (24)

カッコ内はオンライン参加

(2) 災害被災者支援事業

〔東日本大震災〕

- ・2012年度から行った保養プログラム「名古屋いりゃあせツアー」をコロナ禍に実施するため、8組の家族旅行への補助をすることにした。名古屋YWCAでの交流会への参加と報告書の提出を条件とした。交流会を5月～11月に4回設定し、家族の予定によって日程を決める形式にしたため、「家族全員での旅行ができた」という感想が多かった。
- ・2011年の東日本大震災後、福島県新地町にある3つの小学校と名古屋YWCAをテレビ電話でつなぎ、子どもたちの話を聴く「シンチ・ハート・プロジェクト」を行った。「震災から10年あまり経ち、お世話になった方々にお礼がしたい」と新地町の町長、当時の担当課職員、保健師の3名の訪問を受けた。震災支援活動を行った会員と交流し、新地町の現在の状況とこれからの展望を聞いた。



名古屋いりゃあせツアー交流会



新地町からの訪問

【プログラム】

活動名	主催	実施日	参加人数
2022「名古屋いりゃあせツアー」 交流会	いりゃあせツアー実行委員会	5/3、8/7、9/18 11/3、11/5	会員 24 参加者 29

2. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

(1) 視覚に障がいを持つ人の社会参加を促進する事業

〈音声訳グループ〉は、視覚に障がいのある方が利用する「声の文庫」DAISY図書（デジタル録音図書の国際標準規格）の作成を行った。

視覚に障がいのある方が美術鑑賞をすることがあたりまえのこととなるよう鑑賞会を行う活動〈アートな美〉は、コロナ禍で中止していた鑑賞会を再開した。

【日常活動】

プログラム名	主催	回数	参加人数
「声の文庫」、協力団体、個人依頼の録音図書の作成	音声訳グループ	13タイトル	——
クリスマスカード作成	音声訳グループ	1	6

(2) 高齢者の福祉に資する事業

高齢者が自立して生きていくために日頃から社会の動きに関心を持ち共有する読書会やおしゃべりをしながら日常の不安や課題を話し合う場を提供した。〈おひとり様広場〉

【プログラム】

プログラム名	主催	回数	参加人数
〈ホームロイヤル〉を知っていますか？	グループ おひとり様広場	4/22	18
エンディングサポート	グループ おひとり様広場	9/30	12

(3) 路上生活のんびとを支援する事業

名古屋地域の支援団体とつながり、毎週金曜日に路上生活者に食事を提供した。また、名古屋の地で20年以上続く「炊出し」活動に協力し、毎月第3火曜日に、前日の「炊出し」で使用した食器、調理用具等の洗いや片付けを行った。

【プログラム】

プログラム名	担当	回数	参加延人数
食事と生活用品・衣類の提供	グループ スープキッチン	46回	利用者 1258 実施者 179
NPO ささしま共生会「洗い」支援	————	10回	60 (YWCA 45)

(4) 日本に住む外国人を支援する事業

名古屋YWCA学院日本語学校に学ぶ学生たちと日本語で交流する「おしゃべり広場」を行った。「外国人が話す日本語サロン」は韓国からの留学生を講師に行った。

【プログラム】

プログラム名	主催	ゲスト	実施日	参加人数
外国人が話す日本語サロン 「ごめん：位置によって変わる意味」	グループ 国際交流会	ヤン・スンギョ	7/23	12
おしゃべり広場	グループ 国際交流会	15回 5/9 折り紙、7/4 七夕飾り、 9/12 俳句の会、2/27 ひな人形		276 (YWCA 106)

3. 子どもや青少年の健全な心身の育成に資する事業

- ・若い世代が中心となり、沖縄の抱える問題や平和について学ぶ「沖縄スタディツアー」を企画実施した。オンラインで事前ミーティングを行い、準備を進めることができた。
- ・オンラインで「沖縄スタディツアー勉強会」、沖縄の講師から学ぶ「事前学習会」を広く参加を募って実施した。
- ・あいちサマーセミナー 2022 にて「沖縄と戦争」、「考えよう。沖縄戦下での住民たち」、「沖縄のハンセン病の過去と現在」の3講座を開催した。
- ・YWCAフェスタ（日本YWCA主催）にて分科会「あなたにとってのリーダーシップとは？」を、対面・オンラインから参加のハイブリッド形式で開催した。



沖縄スタディツアー 佐喜眞美術館



愛知サマーセミナー

【プログラム】 青少年部会 主催

活動名	ゲスト／講師	実施日	参加人数
沖縄スタディツアーオンライン報告会	————	5/14	(14)
愛知サマーセミナー 2022 場所：愛知東邦大学及び東邦高等学校	————	7/17、18	65 (内、 YWCA 6)
YWCA フェスタ分科会 「あなたにとってのリーダーシップとは？」	————	11/26	14 (6)
オンライン学習会 「宮古島の自衛隊基地と人々の暮らし」	清水早子 (ミサイル基地いらない宮 古島住民連絡会共同代表)	5/14	(22)
沖縄スタディツアー	————	3/25～27	5

カッコ内はオンライン参加

【プログラム】 日本YWCA 主催

	参加者(ユース)	実施日
国連女性の地位委員会 (CSW67) 場所：ニューヨーク	田野詩織、藤田青空、三上奈桜	3月4～11日

4. ボランティア養成事業

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために休止していた活動を再開した。
- ・名古屋市委託事業女性のつながりサポート事業「ナゴ女＊つながー」で名古屋YWCAに関心を持った人の会員登録が多くあった。
- ・運営委員会は、名古屋YWCAが90周年となるため、90周年実行委員会を立ち上げ、記念式典や関連行事について準備を始めた。広報ファンドレイジング委員会と協力しながらすすめることとした。
- ・日本YWCA地域連携プログラムに愛知県教職員組合女性部と協働する「韓国スタディツアー」を申請し、2023年度・2024年度の助成を受けることが決まった。
- ・毎年行っているクリスマス寄付に加え、CSW参加補助のための寄付と2023年度2月までの90周年記念寄付を呼びかけた。
- ・全体集会で会員規則の改定を協議し、「子どもとユースのセーフガーディングポリシー」を追加すること、運営委員会の開催回数について改定した。

<運営委員会>

運営委員会	在籍 10名	12回	参加延 91名 (8)
名称	内容	実施日	参加人数
全体集会	2022年度活動報告と 2023年度活動計画について	3/4	36 (8) 委任状 72

カッコ内はオンライン参加

【委員会・部会・チーム 例会】

	在籍	回数	参加延人数
キリスト教基盤部会	5	9	41 (4)
青少年部会	9	7	33
2022「名古屋いりゃあせツアー」実行委員会	10	5	31 (8)
90周年合同会議 (運営委員会、広報ファンドレイジング委員会)	15	3	27 (3)
韓国スタディツアー運営チーム	8	3	(19)
2.11 平和集会実行委員会	12	7	41

【プログラム】 プログラム活動チーム

プログラム名	主催	実施日	参加延人数
オンライン読書会	ブッククラブ f (9月からグループ)	5/21、7/30	14
レッツ！スクエアステップ	レッツ！スクエアステップ	4/22、5/27、6/10、 7/22、8/26、9/9、 10/14、11/11、12/9、 1/13、2/17、3/10	80

【グループ活動】

グループ名	在籍	回数	参加延人数
国際交流会	14	9	56
Spica	8	4	16
おひとり様広場	10	9	63
アートな美	16	15	111
音声訳グループ	9	11	70
スープキッチン	10	別項参照	別項参照
小さい平和の権	5	11	47
手芸グループ	4	36	98
歌の会ラルゴ	11	24	230
旧約聖書を読む会	5	11	61
POP & ART	6	52	167
ブッククラブ f *9月～	8	3	17

5. その他

(1) 他団体との協働・協力・集会参加等

【賛同】

プログラム名	主催	担当	実施日	参加延人数
あいち平和映画祭	あいち平和映画祭 実行委員会	運営委員会	————	————
8.6 新聞意見広告 2022	第九条の会ヒロシマ	運営委員会	————	————
沖縄の今を伝える写真展 NO MORE 沖縄戦 場所：市民ギャラリー栄	あいち沖縄会議	運営委員会	3/14～19	237

【署名】

名称	主催団体	提出日	筆数
ベトナム人技能実習生リンさんの 無罪判決を求める署名	ベトナム人技能実習生リン さんの裁判を支援する会	4/23	14
憲法改悪を許さない全国署名	9条改悪 NO！全国市民 アクション	8/23	19

II 個別相談等を通じて女性を支援する事業 [定款第4条(2)]

女性のための相談・支援事業

カウンセリング件数は昨年度より増えており、暴力被害女性のための寄付による無料カウンセリング（パープルサポート）も9名に70回提供できた。外部講師の依頼も戻りつつあり、参加定員を減らして行うことができた。

内閣府の緊急交付金を利用した、コロナ禍の困難を抱える女性のつながりサポート事業を名古屋市より昨年に引き続いて受託し、居場所や相談の提供、イベントを開催し、延べ2500名以上の参加があった。

また、今後必要性が高まると追われる若年女性のためのSNS相談にも関わった。コロナ禍において、中止が続いたDV被害者親子のための支援プログラムは、低学年、高学年ともに実施することができた。

実施日	プログラム・事業名	講師名	回数	人数
通年	女性のためのカウンセリング	WCNY *	435	435
通年	「パープルサポート」 寄付によるDV・性暴力・虐待被害者のための無料カウンセリング	WCNY *	70	70
通年	託児	————	14	16
4月～3月	性暴力被害女性のためのサポートグループ「あじさい」	WCNY *	1	1
4月～3月	ケースカンファレンス	井上摩耶子	4	40

*ウイメンズカウンセリング名古屋YWC Aカウンセラー

【外部講師】

日程	タイトル	主催	回数	人数
4/9	性的同意について	東京YWCA	1	10
5/31、7/12	私の殻に気づく～ジェンダーの視点から 私の未来図～私らしく歩んで行こう	中川生涯学習センター	2	23
6/20	DVについて理解を深める	愛知県庁 半田常滑看護専門学校	1	42
6/28、 7/5、14、16 10/17、12/13	DVについて理解を深める 「デートDV」の現状や影響、性的同意の 認識の重要性 女性学「恋愛と暴力～DV・デートDVの 実態と対策」	愛知県庁／愛知みずほ大学、 愛知みずほ短期大学	6	323
6/8	「ナゴ女＊つながる」における女性支援 について	イーブルなごや 相談室	1	13
7/1	DV / デートDVについて理解を深める	愛知県庁／ 愛知県立商業高等学校	1	937
7/4	デートDV予防啓発	豊橋工科高等学校	1	297
7/8	DVについて理解を深める	愛知県庁／ 東三河看護専門学校	1	40
7/12	DVについて理解を深める	愛知県庁／ 名古屋市歯科医師会付属 歯科衛生士専門学校	1	43
7/25	女性相談のグループスーパービジョン	仙台市男女共同参画推進 センター エル・ソーラ仙台	1	13
8/2、10/4、7	ドメスティックバイオレンスについて	愛知県庁／ 名古屋ファッション専門学校	3	85
8/17	女性相談 女性のためのつながり サポート事業 相談事例検討研修	石ヶ瀬会館 (ミュージアムおおぶ)	2	12
8/26	DVをなくすために私たちにできること	松阪市役所	1	9
8/30	DV被害者支援における基礎知識 ・事例検討	石川県庁	2	45
9/29	DVについて理解を深める	愛知県庁／ 知立市役所	1	40
10/1	DVについて理解を深める	愛知県庁／ 豊川共生ネットみらい	1	15
10/11	相談者によりそう電話相談とは	NPO 法人子ども虐待防止 センター・しずおか	1	20
10/12、19	エンパワメント講座 自分は どう 生きたいのか？自分軸の鍛え方	豊川共生ネットみらい	2	31
10/14、28、 11/11	女性のための傾聴講座 「女性を取り巻く社会の背景～コロナ禍に おける困難について学ぶ」「母娘の関係に ついて考える」「女性に対する暴力をなく すためにできることを考える」	半田市役所	3	33

日程	タイトル	主催	回数	人数
10/26	D Vについて理解を深める	愛知県庁/ 公立西知多看護専門学校	1	29
11/4	D Vが子どもに与える影響 私たちにできること	愛知県庁/半田市役所	1	31
11/9	D V知識を深め、二次被害を 防止する対策	愛知県庁/安城市役所	1	60
11/10、24	D Vについて理解を深める	愛知県庁/ 愛知県立渥美農業高等学校	2	442
11/14	D Vと子どもの虐待	愛知県家庭相談員連絡協議会 中央ブロック	1	20
11/28	デートD Vへの理解	豊橋高等学校/豊橋市役所	1	158
11/30	D Vについて理解を深める	愛知県庁/ 愛知県立大学看護学部	1	90
12/1	子育てサロン「自分で自分のストレスを へらそう～私の怒りとつきあうコツ～」	石ヶ瀬会館	1	10
12/6	尊重し合う対等な関係づくり～ジェン ダーバイアスの考え方	愛知県立宝陵高等学校/ 豊川市役所	1	200
12/7	お互いを尊重する関係でつきあおう 思春期の交際、恋愛、デートD V	愛知県庁/ 愛知県立瑞陵高等学校	1	520
12/9	お互いを尊重する関係でつきあおう 思春期の交際、恋愛、デートD V	愛知県庁/ 名古屋市立商業高等学校	1	275
12/22	D Vについて理解を深める	愛知県庁/ 国際調理師専門学校	1	33
Youtube 配信 (2/15、3/8)	避難女性寄り添いサポーター養成講座 「被災女性の心理状態とは～支援のポイントを知る～」 「私たちにできること～安心・安全を取り戻すために」	岡崎市役所	2	—
1/26、3/9	ジェンダーの視点で私の役割を見つめなおす いつも元気な私にパワーアップ	中区生涯学習センター	2	9
1/27、2/3	考えてみたい！母娘関係から私らしく生きる ために「母から見た娘」「娘から見た母」	イーブルなごや	2	38
2/2	刈谷市要保護者対策研修会 「D V被害者への支援」	愛知県庁/ 刈谷市役所	1	100
2/15	人権擁護委員第三次研修 D Vについて深い知識を身につける	名古屋市法務局人権擁護部	1	70
2/24	母性看護学概論 「D Vについて理解を深める」	安城市医師会 安城市碧海看護専門学校	1	41
2/24、3/3	半田市女性のための 相談員フォローアップ講座	半田市役所	2	6

日程	タイトル	主催	回数	人数
2/25	DVについて理解を深める	愛知県庁／ 武豊町役場	1	30
3/5	ココロとカラダを守る おやこで学ぶ護身術	知多市男女共同参画センター “ウィズ”	1	32
3/19	成人指導者ステップアップセミナー 相互尊重のコミュニケーション～「傾聴」 が深めるお互いの理解と尊重～	一般社団法人 日本ボーイスカウト愛知連盟	1	39

合計 60 4278

【委託事業など】

4月～3月	豊川市女性悩み事相談	豊川市役所	36回	106 ケース
4月～3月	鈴鹿市女性悩み事相談スーパーバイズ	鈴鹿市役所	12回	————
4月～3月	DVサポートグループひまわり	名古屋市役所	22回	延 58人
4月～3月	岡崎市相談員スーパーバイズ	岡崎市役所	48回	————
随時	名古屋市親子カウンセリング	名古屋市役所	0組	実施なし
8月～1月	DV親子支援プログラム(小4～中1)	名古屋市役所	7回	延 22人
11月～3月	DV親子支援プログラム(小1～小3)	名古屋市役所	6回	延 60人
4月～3月	DV 性暴力 電話相談ホットライン		36回	428 ケース
4月～3月	若年女性のためのSNS相談		26回	————

【協力・共催】

4月～3月 (12回)	名古屋市親子カウンセリング	名古屋市役所
5/28、29	第2回日本フェミニストカウンセリング学会 全国大会 in 名古屋 シンポジウム 「コロナ禍の女性の生きづらさと支援」 ワークショップ 「生きづらさを抱える女性の『ホットスペース』の作り方」	日本フェミニストカウンセリング学会



DV親子支援プログラム



DV親子支援プログラム
怒りの火山

<名古屋市困難を抱える女性のつながりサポート事業「ナゴ女*つながーる」> 4月～3月



みらいレッスン わたしが生きやすくなるために

困難を抱える女性のための居場所「ホッとスペース」(対面) ※水、土曜日				80回	2,016人
個別相談	38日 (1日3コマ)	86人	プチ相談	のべ250人	
女性用品の提供(生理用品、シャンプー、基礎化粧品トライアル、 ハンドクリーム、マスク、リップクリーム)				80回	440人
浴衣を着てみよう(1回) / クリスマスイブ(1回) / つながーる de ピアノ(2回) / ボードゲーム、カードゲームで遊ぼう(1回)					
おはなし会 「母娘関係」「大人のひとり旅」「私を守って生きるって?」 「推しマンガトーク」「名古屋はじめてさん、集まれ!」 「今年やってみよう」「離婚した人・したい人、集まれ!」 「わたし、こんなふうには楽しんでいます!」「女性として生きて いて、モヤモヤすること」				各1回	述べ80人

将来への自立を促すイベント「みらいレッスン(オンライン)」全10回

参加人数

6/11	ナゴ女*つながーるシネマ「ソニータ」 鑑賞と感想シェア会	—————	9
7/2	【わたしをやる】 フィンランド流「わたしの取扱説明書の作り方」	フィンランドワークショップ omena	8
7/23	【わたしをやる】 フィンランド流「わたしの強みを見つけるヒント」	フィンランドワークショップ omena	10
8/6	【わたしをやる】 更年期を乗りきるための心と体のトリセツ講座	永田京子 (NPO法人ちえぶら代表理事)	13
9/10	【わたしをやる】 わたしの軸の見つけ方・育て方 不安定な社会の中で暮らしていくために	古賀明美 (国家資格キャリアコンサルタント)	14
10/22	【わたしをやる】 娘として母との関係を考える	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	16
11/19	【わたしをやる】 わたらしい人生の作り方	渡辺郁 (株式会社アンサーノックス代表取締役)	10

参加人数

1/21	【わたしをみがく】 心穏やかに暮らすためのお金の貯め方・使い方	坂本綾子 (ファイナンシャルプランナー)	19
1/28	【わたしをみがく】 不安・イライラがやわらぐ「安心のタネ」の育て方	浅井咲子 (公認心理士)	14
2/25	【社会をやる】 わたしが生きのびるためのヒント わたしたちのいる場所はつながっている	アルテイシア (作家)	37

将来への自立を促すイベント「みらいレッスン (対面)」 全 28 回

参加人数

5/11	【わたしをみがく】 アロマでセルフケア	西田文乃 (名古屋YWCA)	10
5/28	ナゴ女*つながるシネマ 「大海原のソングライン」鑑賞と感想シェア会	—————	7
6/8	【わたしをみがく】 お菓子づくり	吉澤道子 (名古屋YWCA)	10
6/18	【わたしをやる】 生きづらい社会におけるライフキャリアを考えよう	乙部由子 (金城学院大学非常勤講師他)	8
6/29	【わたしをやる】 わたしに出会う	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	8
7/9	【わたしをみがく】 ヨガでセルフケア	濱元由紀 (ヨガインストラクター)	11
7/13	【わたしをやる】 娘として母との関係を考える	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	9
7/30	【わたしをみがく】 学びなおし英会話プチレッスン	山田啓子 (名古屋YWCA英会話非常勤講師)	14
8/27	【わたしのからだ】 知らなきゃソン! わたしのカラダと生理の話♪	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	15
8/31	【わたしをやる】 そのモヤモヤ・生きづらさはなに? ジェンダーの視点から考える	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	10
9/14	【わたしをやる】 わたしを守って生きる	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	14
9/24	ナゴ女*つながるシネマ 「happy- しあわせを探すあなたへ」	—————	14
10/1	【わたしをみがく】 基礎から学ぼうスマホ撮影のコツ	成瀬友美 (フリーカメラマン)	10
10/8	【社会をやる】 あなたの「介護」のモヤモヤに答えます	近藤八津子 (看護師)	9
10/19	【わたしをやる】 わたしの思いの伝え方	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	10
10/26	【わたしをみがく】 ヨガでセルフケア	濱元由紀 (ヨガインストラクター)	12
11/9	【わたしをみがく】 オリジナルクリスマスカードを作ろう	なかつじ千代依 (名古屋YWCA)	13

11/12	【わたしをみがく】 オートミールで簡単クッキーづくり& おしゃべり試食会	吉澤道子（名古屋YWCA）	10
11/16	【わたしをきる】わたしの感情とのつきあい方	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	13
11/30	【わたしをみがく】 明日もっと輝くためのメイクレッスン	小木曾浩美 （ヘアメイクアーティスト）	18
12/3	【わたしをきる】 心とからだを自分で守るセルフディフェンス	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	21
12/14	【わたしをきる】怒り悲しみをなぐさめる	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	20
12/17	【わたしのからだ】 からだをゆるめてココロもリラックス	つながーるスタッフ	8
1/14	【わたしをきる】 フィンランド流ワークショップで知る わたしの気持ちと考え方のクセ	フィンランドワークショップ omena yakko	17
1/25	【わたしをきる】 わたしが生きやすくなるために	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	21
2/4	【わたしをみがく】 やりがいのある仕事をしたい 私らしさをかなえる「はたらく」のカタチ	ATSUMI（ヨガインストラクター） 伊藤佳代子（福祉ネイリスト） 河村芽含（ファッションアドバイザー）	18
2/8	【わたしをきる】 わたしの希望の木 私の今年をデザインする	ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA	24
2/18	【わたしをみがく】 「なりたい・変わりたい」 わたしのための学び直しのススメ	つながーるスタッフ	22

広告媒体 更新回数 ※9月～3月

Instagram	89回	Twitter	289回	Instagram 広告	11回	Google ディスプレイ広告	10回
Facebook	106回	LINE	97回			Yahoo ディスプレイ広告	10回



【わたしをみがく】ヨガでセルフケア

【わたしをみがく】
明日もっと輝くためのメイクレッスン

Ⅲ 諸外国の言語及び文化を学習する機会を提供する事業 [定款第4条(3)]

1. 語学・教育事業

コロナ禍からの回復がみられ、教室授業をほぼ予定通り開講した。また、受講生が戻り始めたこともあり、6月の入学キャンペーンを機に第2期(6月～9月)は受講生数が169名まで伸びた。10月の新型コロナウイルス第8波で受講生数が減少したものの、年度末には1クラスあたりの生徒数が目標の5人を達成した。クラス数はコロナ禍前には戻ってはいないが短期講座やプライベートレッスンが好調だったこともあり、活気あふれる一年だった。

セミプライベートレッスンとしては保育士より外国ルーツの子どもや保護者とコミュニケーションを取りたいという依頼を受け、初めて「保育士向けの英語研修」をオンラインで行った。短期講座は「英語で聖書を学ぶクラス」「英検対策短期講座」を開講した。英検対策はクラスも増え、レギュラークラスは3クラスとなった。また、プライベートレッスンもほぼ英検対策の内容となった。レギュラークラスとなった「英語で科学を学ぶクラス」とともに、若い世代の英語クラスを開講することに努めた。

受講スタイルについては引き続き「オンライン」「録画受講」「教室&オンラインのハイブリッドクラス」など、受講生に参加しやすい環境を整えたことで、受講生の継続率や参加率が上がった。

受託事業の海外子女教育振興財団(外国語保持教室)は3年ぶりに36回の全教室クラス開催することができたが、海外からの帰国者の規模が縮小しており、今年度で教室使用の受託契約を終了した。

【開催プログラム】

※：登録人数

開催日	事業種別	クラス・講座名	講師名	回数	延人数
年間	レギュラークラス (33クラス)	パンフレット参照	パンフレット参照	40	160 (※)
年間	プライベート レッスン	英検プライベート、 通訳プライベート 他	山田啓子 施直美 他	80	80
年間	セミプライベート レッスン	保育士英語研修	山田啓子	14	72
年間	SAPL プライベート レッスン	—————	—————	0	0
9月～11月	短期講座	英語で学ぶ聖書の世界	マイケル・カーター	5	10
10月	短期講座	英検1級2回講座	施直美	2	9
3月	短期講座	英検1級長文3回講座	サイモン・ビグロー	3	20
3月	短期講座	英検1級模擬試験	施直美	3	14
3月	短期講座	英検準1級3回講座	長谷川佳代	3	7
年間	受託事業	海外子女教育振興財団 (外国語保持教室)	—————	36	——
年間	受託事業	海外子女教育振興財団 (親子教室・入室テスト)	—————	7	——

2. 個別に配慮が必要な子どもを支援する事業

個別学習支援「タノシム」は、子どもの特性に合った方法での学習や、苦手な部分を伸ばすための支援を実施した。ニーズによっては、進路に関するサポートや心理的な支援にも対応した。

発達障がいの子どものための支援者養成講座は今年度より「理論編」と「実践編」の2講座で行い、それぞれのクラスで延べ140名の参加者があった。「講義(理論)」と「ケース検討(実践)」という二つの内容を同時に学べる機会は現場でも学習の場でもないという講師からの意見もあり、支援者にとって貴重な機会となるよう開催を継続したい。



山下直樹先生



保育士向けの英語研修（オンライン）

【開催プログラム】

開催日	事業種別	クラス・講座名	講師名	回数	延人数
年間	子ども支援	学習につまずきのある子どもの勉強室「タノシーム」	石垣裕子、大川 司	87	87
年間	子ども支援	保護者向け個別相談「ポルカ」	大川 司	1	1
9月～1月	支援者養成講座	発達障がいの子どものための支援者養成講座（支援者のためのベーシック講座・理論編）	山下直樹 （名古屋短期大学）	4	80
		発達障がいの子どものための支援者養成講座（支援者のケーススタディ講座・実践編）		4	60

IV 日本語教師を養成する事業 [定款第4条(4)]

1. 日本語教師養成事業

- 日本語教師養成講座では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、座学をオンライン、実習授業を対面で実施した。
- 受講生の希望に沿った進路サポートを行い、希望者全員の進路が決定した。
- 法制化の影響を受け、受講生数を制限し講座を開催している。
- 短期講座「日本語教育能力検定試験対策講座」では、一般、大学生からも申し込みがあった。全国平均合格率約31%の中、当該講座受講生の合格率は60%と非常に高かった。
- 知多市、みよし市、一宮市から依頼をうけ、日本語ボランティア養成講座を実施した。地域日本語教育をテーマにした講座依頼が増加し、日本語教育の多様化が顕著に表れていた。

【開催プログラム】

開催月	プログラム名	回数	延人数
4月～3月	日本語教師養成講座 個別相談会	42回	42
4月～3月	日本語教師養成講座	135回	30
8月～10月	日本語教育能力検定試験対策講座	オンデマンド配信5分野 オンラインライブ 6回（10時間）	204
3月	日本語教師養成講座 修了式	1回	35

【講演、講師】

主催	実施日	内容	参加者数
みよし日本語ボランティア 研修会	9/28	これからの日本語教育 日本語教師資格・日本語学習者のテストと 能力判定・対象者別教室の受け入れ方法	29
知多市国際交流協会	11/20、27、 12/4	多文化共生について考える/ 日本語学習者とのコミュニケーション 様々な学習方法から考える	23
一宮市国際交流協会	12/2、9	多文化共生について考える/ 日本語を通じて外国人と交流しよう	20
知多市にほんごの会	2/18	これからの地域日本語教室をデザインする	18

【委員】 委員名：和田貴子

- ・地域における初期日本語教育モデル事業 運営委員
- ・あいち地域日本語教育ネットワーク会議 委員
- ・あいち外国人の日本語教育推進会議 委員



授業の様子



修了式

【修了生の進路】（4月～3月） 計32名

国内学校、その他		プライベート	
名古屋 YWCA 学院日本語学校	2	(申込み学習者国籍)	
愛知工科大学外国語学校	1	中国	2
日生日本語学園名古屋校	4	スリランカ	1
SKY 日本語学校	1	アメリカ	1
名古屋 YMCA 日本語学院	1	フィリピン	1
名古屋経営会計専門学校	2	ウクライナ	1
アセアン日本語学校	11	海外	
名古屋外国人研修センター	1	南陽師範学校	1
可児市国際交流協会	1		
国際交流基金 EPA プログラム	1		
日本パプテスト宣教団	2	進学	
名古屋外国人研修センター	1	名古屋市立大学大学院	1
愛知県立御津あおば高等学校	2	ハッピー・サイエンス・ユニバーシティ	
名古屋大学附属高等学校	1	未来創造学部 政治・ジャーナリズム 専攻コース	1
名古屋国際中学校	1		

* 2022年度講師登録制度停止へ 2004年度登録開始現在477名

【教育訓練給付制度対象講座】

日本語教育セミナー 420 時間コース	2021 年 10 月 1 日～ 2024 年 9 月 30 日
---------------------	----------------------------------

【教育訓練給付制度利用者】 5 名

【科目履修申し込み者数】 6 名

2. 日本に住む外国人の子どもを支援する事業

- ・新型コロナウイルスの影響で人数制限をしながらではあるが、対面クラスは安定してクラスを開講した。
- ・ガリ勉奨学金を開始し、7 名の子どもの申請を認定した。
- ・夏休みクラス（7 月末～8 月）の中で、各クラススピーチ大会を開催した。
- ・高校準備クラスでは、高校進学希望の子どもからの問い合わせが相次いだため、木曜日にクラスを増設して開講した。
- ・新型コロナウイルスの感染症拡大を鑑み、冬休みクラスは不開講とした。
- ・名古屋和合ロータリークラブとの共同プロジェクト、オリジナル数学テキスト「日本語を母語としない子どもたちのためのやさしい数学」を作成。

<グローバルスクール>

教室名／生徒登録者数		1 学期	2 学期	3 学期	夏休み	冬休み
子ども 日本語 クラス	小中学生クラス	37 回	19	24	時間を 変更して 実施 (4 回)	不開講
	高校準備クラス	38 回	10	15		
	高校生昼間クラス	38 回	12	8		
	高校生夜間クラス	37 回	18	17		
	高校準備（木）クラス	21 回		12	12	
教科	教科クラス（基礎）	40 回	8			
	教科クラス（応用）	27 回	17			
進学サポート	オンライン日本語コース	第 1 ターム 9 名（16 回）、第 2 ターム 19 名（18 回）				
	入試対策コース	9 回 28 名				
	数学基礎補習コース	5 回 10 名				

【スタッフ】 コーディネーター 3 名、ボランティア登録 41 名（内大学生 9 名）

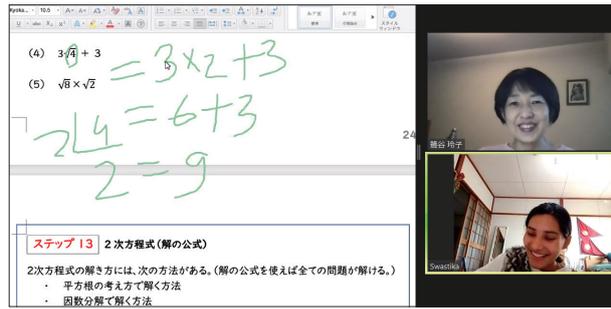
【ガリ勉家庭教師】 年間 3 名

【その他の活動】 進学相談会

開催日	内容	相談者数／参加者数
7/30	進学ガイダンス	5
9/10	ボランティア勉強会 日本語教師養成講座「年少者」	12
11/26	学校見学会	14
12/3	学校見学会	8
1/17	学校見学会	14



高校生夜間クラス



数学基礎クラス (オンライン)

【進路結果】

進学先	人数	進学先	人数	進学先	人数
私立高校	5	昼間定時制高校	12	大学	1
公立高校	4	夜間定時制高校	12	中学夜間学級	1
就職	2				

3. 日本に住む外国人生活者を支援する事業

- ・ファミリークラスは、オンラインでの実施が定着した。
- ・県外からの参加者もあり、オンラインでの実施による効果も見られた。
- ・受講生のニーズに合わせたクラスに分け、少人数での指導を行った。
- ・出産、子育て、教育（保育園、小学校等）について、受講生、ボランティア間で情報共有を行った。

ファミリークラス 子育てと生活の日本語教育

外国人父母のための日本語教室	学期		人数
ファミリークラス	1ターム	14回	10
	2ターム	14回	11
	3ターム	10回	8

【その他の活動】

勉強会	4/1	10名	8/26	11名	12/23、1/6	11名
-----	-----	-----	------	-----	-----------	-----

【スタッフ】コーディネーター 1名、ボランティア登録 12名



初期日本語クラス



第三国定住難民クラス

第三国定住難民に対する日本語教育事業（文化庁再委託事業）

- ・愛知県へ定住した第三国定住難民（第10陣）に対し日本語教育を行った。
- ・大人クラス、子どもクラスと対象者を分け、日本語教室を実施した。
- ・日本語の習得率が高く、高い事業評価を得ている。
- ・転居なく安定して愛知県に定住している点が特長的である。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、対面とオンラインの両方で教室運営を行った。

家族数	人数
6	20

【スタッフ】コーディネーター 1名、講師 5名

地域における初期日本語教育モデル事業（愛知県委託事業）

- ・「初期日本語教育向け指導者養成講座」では、初期レベルの学習者に対して地域における初期日本語教育ができる人材を養成するための講座を開催した。初期レベルの学習者とのコミュニケーション方法の習得と指導者としての専門性の習得の2段階、また「生活者としての外国人」に対する日本語教育と地域日本語教育の専門性を学ぶためのカリキュラム構成で実施した。
- ・「はじめての日本語教室」では、公的保障として日本語学習機会を提供し、日本語がほとんど話せない外国籍市民に対して、日本語教育の専門家による生活者向けの対話型の初期日本語教室をモデル的に開催した。
- ・「人材育成カリキュラム検討委員会」では、日本語教育人材に求められる資質・能力についての研究、分析を行い、人材の整理（定義、名称、役割、担い手）、資質・能力の明確化、人材育成カリキュラムについて検討を行った。

項目	実施期間	回数	受講者数
初期日本語教育向け指導者養成講座 尾張旭市にて実施	9月3日～12月10日	9	30名(内修了者26名)
初期日本語教室「はじめての日本語教室」 尾張旭市にて実施	9月17日～11月12日	8	学習者 29名 サポーター 30名
人材育成カリキュラム検討委員会	8月4日～2月7日	4	委員6名

愛知県ウクライナ避難民日本語学習支援事業（愛知県委託事業）

- ・「オンライン日本語教室」では、ウクライナから愛知県へ避難している人々に対して、日常生活の場面を通して初期レベルの日本語習得と生活上必要な情報の提供を目的として日本語教室を開催した。オンラインで実施することで、市内だけではなく、名古屋市郊外の学習者への学習機会の保障としても開催した。アプリを使用し授業を行うことで、クラス時間外での学習者の自律学習を促した。
- ・「コーディネーター派遣」では、ウクライナ避難民を受け入れている市町村にコーディネーターと県職員が出向き、当事者に対し、日本語学習機会の有無、日本語学習状況、日本語学習の希望、生活上での困難、就労状況、就学状況、情意面の確認を行った

項目	実施期間	回数	実施場所	受講者数
ウクライナ避難民に対する オンライン日本語教室	9月6日～12月20日	15	———	16
コーディネーターの派遣	9月13日～3月15日	7	犬山市、東海市、みよし市、 江南市、安城市、長久手市	———

V 日本語学校を運営する事業 [定款第4条(5)]

日本語学校事業

【本科コース】

- ・10月28日付で、名古屋出入国在留管理局より、在籍管理優良校（留学生の在籍管理が適正に行われていると認められる教育機関）に選定された。
- ・新型コロナウイルスによる新規入国制限が緩和された影響で、新入生が増加した。特に秋学期は、前年比162%にあたる44名となり、5クラス開講した。出身は延べ16の国と地域であった。ネパールが最も多く、秋学期には全体の36%を占めた。在留資格は、定住者と家族滞在がそれぞれ全体の30%であった。10代の学生が全体の48%を占め、その多くが高校、専門学校、大学への進学を目的とする者であった。
- ・進学を希望する学生全員が、志望校に合格することができた。
- ・県立熱田高校との合同授業、中区役所職員を招いた授業、中区役所での多文化共生ワークショップへの参加、中区役所へのインターンシップなど地域社会とつなげるための活動を行った。

【別科コース】

- ・新型コロナウイルスの新規入国制限緩和により新規入学者は増えたものの、全体の学生数は予算の68%にとどまった。前年度の入学者が少なかったため、中・上級レベルで開講できないクラスがあったこと、初級レベルで学習を終える学生が増えたこと、学生のニーズが多様化していること、オンラインや地域の日本語教室など学習の場の選択肢が多様になったことなどが理由として考えられる。
- ・夏期集中コースを対面で開講した。入国制限の緩和により、前年の5倍にあたる30名の学生が受講した。
- ・文化庁委託事業「ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業」を受託した。スリランカ、モーリシャスなど海外に住む学生たちに150時間の日本語の授業を提供することができた。

【日本語学校奨学金】

- ・春学期は、中国、日本（タイ出身）、日本（フィリピン出身）、ベトナムの学生、秋学期は、中国、フィリピン、ブラジル、ベトナム出身学生に給付した。
- ・経済的に困窮した学生のために緊急学習支援奨学金を設置し、5万円を2名に給付した。
- ・ウクライナ等からの避難民3名に難民奨学金を給付した。



漫才で覚える日本語



交流パーティー

【本科コース】

コース名	学期	期間	時間数	クラス数	学生数	国籍
本科1年課程	春	4月～10月	400	4	33	15
	秋	10月～3月	400	5	44	13

学期		行事
春学期	4/1	春期コース入学オリエンテーション・クラス分け試験
	5/27	遠足（東山動物園）
	7/15	スピーチコンテスト
	8/1～31	夏休み
	9/21～26 9/29	期末試験 春期コース卒業・修了式
	9/30～10/6	秋休み
秋学期	10/7	秋期コース入学オリエンテーション・クラス分け試験
	12/12	健康診断
	12/16	交流パーティー
	12/21～1/5	冬休み
	3/10～14 3/20	期末試験 秋期コース卒業・修了式

【別科コース】

学期	コース名	期間	時間数	クラス数	学生数	合計	国籍
春	別科 午前	4月～7月	69	5	34	48	16
	別科 午後		69	3	14		
	能力試験対策	4月～6月	20～25	3	17	17	10
夏	夏期集中	7月～8月	69	3	30	30	11
秋	別科 午前	10月～1月	69	5	38	49	11
	別科 午後		69	1	11		
	能力試験対策	10月～12月	25～30	3	14	14	8
冬	別科 午前	1月～4月	69	6	41	57	23
	別科 午後		69	2	16		



中区役所でのインターンシップ



授業の様子

VI 不動産賃貸等事業 [定款第4条(6)]

不動産賃貸事業

1. 不動産賃貸事業

長い間空いていた地下テナントは2022年10月より契約が決まり、テナントの稼働率は100%となった。今後もメンテナンスを計画的に行い、ビル価値の維持に努める。

支出においては、予定通りテナントのLED工事をを行った。この事業の主たる目的である公益目的事業へのみなし寄付は、1,431万円となった。YWCAビルは、築後33年が経過しており、今後も様々な設備の取替や、修繕が予想される。長期修繕計画のもと、特別修繕積立金を活用しながら、管理、運営を行っていく予定である。

2. 外部会議室利用

新型コロナウイルスの影響を鑑みて、各室の定員を減らした。

内部の使用率が高く、外部への貸出しは前年並みとなった。

	利用回数 (のべ)			利用人数 (のべ)		
	外部 (注1)	運営協力 (注2)	合計	外部 (注1)	運営協力 (注2)	合計
ビッグスペース	7	2	9	285	70	355
会議室	62	8	70	532	78	610

(注1) 非営利・営利の個人及び団体等 (注2) 施設維持の協力団体

VII その他 この法人の目的を達するために必要な事業 [定款第4条(7)]

新聞委員会/広報ファンドレイジング委員会

1. 新聞委員会

名古屋YWCAの活動を幅広く知ってもらうため、またYWCAの会員の情報の共有のために、2ヶ月に一度、A4版8頁の機関紙を発行し、1回につき約400の個人・団体に発送した。

名古屋YWCA 90周年につき、「90年史(2013~2022年)」の編集を始めた。

◇機関紙 広告協力企業等

愛知国際病院、恵沢法律事務所、司法書士事務所ひらら、ヘア&メイクポアソンレヴール

◇機関紙配布先

会員・会友、賛助会員、各市YWCA、関係団体、クラス生徒・講師、講座・プログラム参加者 等



名古屋YWCA機関紙A4版



ロビーに90周年記念の写真展示を開始した

発行月	記事内容			
	1・2面	3・4面	5・6・7面	8面
4、5月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・第47回2.11 平和集会報告(日高伴子) ・全体集会報告 ・2020年度運営委員 ・会費納入のお願い 	<ul style="list-style-type: none"> ・2022名古屋「いりゃあせツアー」 ・広報ファンドレイジング/スクエアステップ/おいしいねの日/天然素材でナチュラルホームクリーニング ・聖書に聞く(草地大作) ・教えて! MIHOちゃん 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋YWCAヒストリー No. 6 ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(高見澤ユリ) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員・寄付者 ・寄付のお願い ・キリスト教基盤読書会 ・ボランティア活動保険加入手続き)
6、7月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・今、必要とされる女性のためのセーフスペース(南城友佳里) ・CSW66報告(三上奈桜) ・沖縄スタディツアー報告(二宮由布子) 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性たちのフォトボイス展報告(飯野充子) ・BOOKフェス予告 ・聖書に聞く(草地大作) ・草地大作さんお話し会報告(新聞委員会/広報ファンドレイジング委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋YWCAヒストリー No. 7(最終回) ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(赤澤ヒロ子) ・評議員会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員・寄付者 ・寄付のお願い ・平和集会実行委員会募集 ・ラルゴメンバー募集 ・館内に飾る「聖句」募集
8、9月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・ウクライナに平和を(河田昌東) ・キリスト教基盤お話し会 共に生きるために(磯井和子) ・難民奨学生への支援(本多淑子) ・2021年度体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・天然素材でナチュラルホームクリーニング報告(堀尾純子) ・勉強会ホームロイヤールを知っていますか報告(柴田美紀子) ・聖書に聞く(草地大作) ・教えて! MIHOちゃん 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙でたどる名古屋YWCAヒストリー ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(渡邊洋美) ・評議員会、理事会報告 ・運営委員会報告 ・新会員・賛助会費・寄付者 ・寄付のお願い ・メーリングリスト登録のお知らせ
10、11月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・活動チームからグループへ「ブッククラブf」(磯村美保子) ・日本語サロン報告(富永奈保子) ・BOOKフェス報告(広報ファンドレイジング委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まるっとオープンデー予告(広報ファンドレイジング委員会) ・クリスマスをとものに予告 ・YWCA—YMCA 合同祈禱週予告 ・聖書に聞く(草地大作) ・会長など候補者推薦のお願い 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙でたどる名古屋YWCAヒストリー ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(近藤八津子) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新会員・賛助会費 ・寄付者 ・寄付のお願い ・90周年記念写真展示のお知らせ

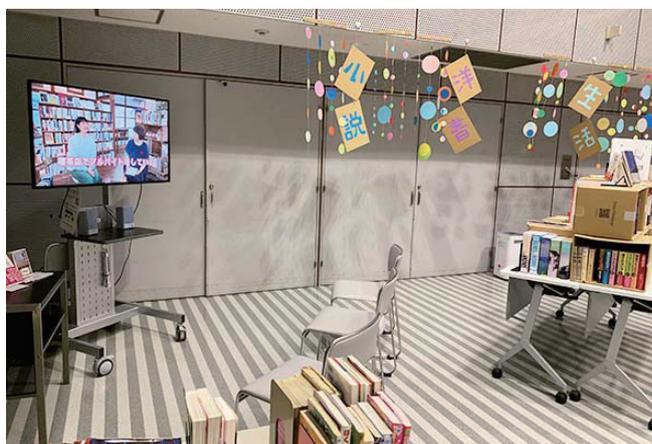
発行月	記事内容			
	1・2面	3・4面	5・6・7面	8面
12、1月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・クリスマスメッセージ「手を取り合って、旅を続けよう」(安達正樹) ・最後の名古屋「いりゃあせツアー」(永山峰子) ・まるっとオープンデー報告(広報ファンドレイジング委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・レッツ!スクエアステップ報告 ・2.11 平和集会予告 ・おもいでギャラリー展示のお知らせ ・クッキーケーキの販売予告 ・「クリスマスをとともに」お知らせ ・教えて! MIHOちゃん 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙でたどる名古屋YWCAヒストリー ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(小松友子) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・賛助会費・寄付者 ・寄付のお願い ・90周年ロゴ ・冬期休館のお知らせ
2、3月号	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の聖句 ・YWCA号の再起(近藤真由美) ・クリスマスとともに報告(永山峰子) ・合同祈祷週報告(岡田淳子) 	<ul style="list-style-type: none"> ・90周年記念寄付のお願い ・2.11 平和集会予告 ・90周年記念おいしいねセット販売 ・聖書に聞く(草地大作) ・クリスマス寄付感謝報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員から90周年を迎える名古屋YWCAへのエール(諏訪昭子/新倉春美/長橋美保) ・WCNY ・語学・教育部 ・日本語学校 ・日本語教師養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・からしだね(夏目とよ子) ・理事会報告 ・運営委員会報告 ・新入会員・寄付者 ・賛助会費 ・寄付のお願い ・広報ファンドレイジング委員会/放送部 ・ボランティア活動保険加入手続き

2. 広報ファンドレイジング委員会

活動を各部に分かれて行うことで、それぞれの負担が減り、活動しやすくなった。これまで、料理を担当していたメンバーを「おいしいね部」とし、4月と6月に「おいしいねの日」を1日設定してメンバーに負担のない程度の量を販売。「BOOKフェス」や「まるっとオープンデー」のランチ、クリスマスのクッキーとケーキ、2月には90周年記念お菓子セットを販売した。

1年を通して、広報ファンドレイジング委員会の収益は約50万円になり、希望があったキリスト教基盤部会と2.11 平和集会実行委員会などへ分配したほか、料理室のオープン1台の買い替えができた。

○女性と子どもの幸せ活動のための「BOOKフェス」7月16日(金)、18日(月) 収益:108,441円



BOOKフェス 古本市



BOOKフェス 文学カフェ

内容：古本市、文学カフェ、アップサイクル部ブックカバーマーケット、動画放映

本の購入者：16日74名、18日11名

文学カフェテーマ：ローラのステキな食卓（大草原の小さな家）

*古本市の中にモニターを置き、「まなみ古書店」杉浦さんのインタビュー動画、会員らによる「私の推しの1冊」の動画を流した。

*収益から「グローバルスクール」と「女性のための相談支援」へ30,000円ずつ分配した。

○「まるっとオープンデー」10月15日（土） 収益：63,009円

内容：動画「名古屋YWCA歴史」上映、ランチ販売、リサイクル衣料ファッションショー

リサイクル衣料バザール *空き時間に会場内で「YWW 賞受賞者インタビュー動画」を放映

今回の目的は「会員の親睦」とした。数十年ぶりに来場した会員や、遠くから久しぶりに来た会員もあった。来場者それぞれが楽しく交流し、目的は達成できた。また、初めて訪れたという人もあり、名古屋YWCAに興味を持ってもらえたようだった。

動画「名古屋YWCA歴史」は、名古屋YWCAを改めて知る機会になった。

「リサイクル衣料ファッションショー」は最終的にモデルが10名となり、それぞれの着こなしをアピールしたり、リサイクル衣料の活動のPRも行い、盛り上がった。

ランチは当日までに予定の40食以上の予約があり、数量を増やして対応した。



まるっとオープンデー
リサイクル衣料ファッションショー



まるっとオープンデー
ランチ（グヤーシュ、豆カレー）

- ・リサイクル衣料部 寄付された衣料をロビー（ビッグスペース前のラック）に置いて通年販売した。毎月第3火曜日午前（変更の場合あり）に値付けや入れ替えなどを行った。年間売り上げ：124,600円
- ・お花畑部 名古屋YWCAビル1階のプランターの植替え、水やりなど、管理を行った。
- ・放送部

YouTube ライブ配信「ワイドボワンダフルチャンネル」 不定期 10回実施

【おでかけワンダフル】

まなみ古書店 店主 杉浦真奈さんにインタビュー（6/9）youtube の他、BOOKフェスで放映した。

日本舞踊稲垣流 四代目家元 稲垣舞比さんにインタビュー 11/25 配信
YouTube 名古屋YWCA アカウントで「英語初心者のための Bun Bun 英語」の配信を始めた。不定期 特別編を含め7回配信

- ・アップサイクル部 販売できないリサイクル衣料をアップサイクルして販売する「アップサイクル部」を始めた。

ネクタイから作ったネックレスやブックカバー、ニット製品をほどこいて編みなおしたコースターなどを販売。クリスマスミニバザーにも出店した。年間売り上げ：40,100円



アップサイクル部
ネックレス

・おいしいね部

「おいしいねの日」偶数月に1回開催（イベントと調整して実施）

4月 ラム酒ケーキ、牡蠣のオイル漬け、いちごジャム、クッキー（黒糖ジンジャー、オレンジピール）

収益 14,943円

6月 ルバーブジャム、ジンジャーエールシロップ、フロランタン、ジンジャーケーキ

収益 19,370円

クッキー・ケーキ販売 12月10日（土）＊クリスマス会の日実施 収益：123,343円

今年もクッキー缶が人気で予約で30個が完売した。材料費が値上がりしているため、販売価格を少し上げた。

90周年おいしいねセット 2/11 限定30個 収益55,672円

きふっちのクッキー型を作った。

90クッキー、きふっちクッキー、チョコがけオレンジピール、パウンドケーキ（ドライフルーツ、抹茶あずき）、スパイスナッツ、ルシアンクッキー（チョコ）、ドリップコーヒー



90周年記念おいしいねセット



おいしいねの日

・お話し会 ゆる〜く学んでしっかり知ろう vol. 2

「天然素材でナチュラルホームクリーニング」5/14

講師：大矢智恵子（ナチュラルホームキーパーズ）参加10名

○オリジナル広報グッズ 一筆箋を製作、販売した。

＊90周年実行委員会からの依頼で90周年記念ロゴ、聖句、記念式典の第2部の企画などについて考えた。

＊11月3日～6日に開催された「久屋ぐるっとアート」（久屋ぐるっとアート事務局 愛知県芸術劇場内主催）に参加。シールラリーのシール配布を行った。4日、5日のみの参加で52名の来訪があった。クイズ企画に参加したため、90周年のPRもできた。

会館管理委員会

多くの人が気持ちよく利用出来るよう、日常的な会館の維持、管理、運営を行った。

【修繕工事】

- ・受変電設備改修工事
- ・LED化工事（3階、4階、7階）

【その他】

・火災を想定した避難訓練および放水訓練を実施し50名が参加した（9月6日）。また入居テナントに、防災意識啓発や防災備蓄品、広域避難場所の確認等について情報提供を兼ねた冊子を作成し配布した。



屋上で放水訓練

人事委員会

今年度は、主に以下の事案について理事会に報告・提案を行った。

- ・各就業規則の整備
- ・日本YWCA幹事研修への派遣
- ・36協定の更新
- ・職員研修について
- ・2023年度職員体制
- ・職員の残業問題対策について

コンプライアンス委員会

案件なし

会員・会友・賛助会員・寄付・助成金等

■会員・会友 3月31日現在

	新入会	再入会	退会	自動退会	計
会 員	15	5	3	7	190
会 友	0	0	0	1	9

■賛助会員

◆法人 4社

イワジン真珠有限会社、鹿島建物総合管理株式会社中部営業所、名古屋総合システム株式会社、三輪税理士事務所

◆個人 11名

井上摩耶子、落合建仁、河野登喜子、桑原晶子、児嶋美波里、鈴木詔明、谷川いづみ、田中文宏、鶴崎祥子、武藤佐知子、匿名1名

■寄付

◆寄付者

(個人 YWCA会員含む)

赤澤ヒロ子、荒川彩美、安藤豊子、飯野充子、池田富代、磯井和子、磯貝真紀、伊藤佳織、伊藤克恵、伊藤嘉奈子、井藤光子、伊藤裕子、猪村礼子、岩城孝子、岩田えり子、岩田玲子、宇佐美経子、白井ひさこ、白田治子、大久保素子、大崎康子、大嶋順治、岡田淳子、岡野泰子、荻須恵子、奥村啓子、翁長直美、春日玲子、片桐妙子、加藤佐紀子、甲谷典子、神山美奈子、川崎理子、河野芳江、川本眺万、菊池八穂子、北川益美、木全美奈、木村艶子、清川千春、具ゆり、轡田容子、國枝京子、倉地節子、倉戸ミカ、河野美津子、小崎美和、小谷充子、小林久子、小林雄二、小松友子、小宮一子、近藤純弘、近藤真由美、近藤八津子、坂井瑛子、坂田昌子、七野嘉子、柴田康博、渋谷恒子、島田幸子、島津雅穂、下方夕子、白石ひろみ、城美智子、城間瑚海、新海美佳、鈴木尚子、須藤久恵、諏訪昭子、祖父江修、高橋愛子、高見澤ユリ、田中万寿、谷川いづみ、谷口里花子、玉内廣子、鶴崎祥子、朽久保滯子、富永奈保子、外山真理、長縄光子、長橋美保、奈比川律子、永山峯子、夏目とよ子、夏目満雄、新倉春美、西田文乃、西山貴美子、西山節子、丹羽美智子、野口智子、朴垂紀子、朴貞蘭、橋爪典子、蓮尾陽子、土方千保、日高伴子、堀尾純子、増井さとみ、増田いづみ、増田千恵、松村桂子、松村真理子、水谷廣子、水野志げ子、宮内貞子、三宅ゆかり、宮治陽子、武藤佐知子、馬上貴美子、森瞳、森麻貴、山下直樹、山本良美、与語こまゑ、横井邦子、横江順子、横澤生子、吉兼亜古、吉澤道子、吉田亜希、ヨシシミドリ、脇田純子、渡辺千枝子、匿名21名

(企業・団体)

名古屋キリスト教協議会、社会福祉法人名古屋キリスト教社会館、名古屋和合ロータリークラブ、日本キリスト教団南山教会、にほんご教育の八の会、三輪税理士事務所

【法人 寄付】

通年	一般寄付	415,907 円
通年	受取維持費	342,800 円
通年	受取運営協力金	3,160,260 円

合計 3,918,967 円

【ボランティア事業 寄付】

通年	運営委員会（クリスマス、C S W 67、9 0周年、2.11 平和集会）	805,211 円
通年	部会（キリスト教基盤、青少年）	104,060 円
通年	東日本大震災被災者支援(3・11つながるプロジェクト、いりゃあせツアー)	5,000 円
通年	グループ	100,200 円

合計 1,014,471 円

【女性のための相談・支援事業 寄付】

通年	パープルサポート(暴力被害者への無料カウンセリング)	102,000 円
通年	女性のための相談・支援事業 指定寄付	200,520 円

合計 302,520 円

【日本語教師養成事業 寄付】

通年	グローバルスクール 子ども日本語クラス	個人 28 名、団体 2 件	742,000 円
通年	グローバルスクール ファミリークラス	個人 2 名、団体 1 件	31,000 円

合計 773,000 円

【日本語学校事業 寄付】

通年	日本語学校奨学金基金	個人 53 件	1,204,000 円
----	------------	---------	-------------

【法人 物品寄付】

Canva Pty Ltd	Canva プロ 10 枠
Panasonic(日本 Y W C A 経由)	不織布マスク 3,000 枚
鈴木詔明さん (名古屋中央教会員)	絵画
Amazon みんなで応援プログラム	フードパック、キッチンペーパー (スープキッチン) ボール紙 (広報ファンドレイジング委員会)

【ボランティア事業 物品寄付】

寄付者	対象プログラム	内容
匿名	スープキッチン	野菜、食材

【日本語教師養成事業 物品寄付】

寄付者	対象プログラム	内容
個人9名	グローバルスクール	本、文具、食品、雑貨
名古屋和合ロータリークラブ		パソコン

■補助金・助成金

【法人】

団体名	対象プログラム	金額
日本YWCA	地域支援 他	1,111,000 円

【日本語教師養成事業】

団体名	対象プログラム	金額
公益財団法人愛知県国際交流協会 日本語教育学習支援事業助成金	グローバルスクール	390,050 円

【日本語学校事業】

団体名	対象プログラム	金額
名古屋市（補助金）	日本語学校学生 結核検診	44,764 円

世界YWCA・日本YWCA他

■世界YWCA

4月24日	世界YWCA日デー 2022
10月第3週	世界YWCA非暴力週間
11月第3週	世界YMCA・世界YWCA合同祈祷週
3月3～11日	CSW67（国連女性の地位委員会）

■日本YWCA

5月28日	加盟YWCA中央委員会（オンラインのみ）
11月26日	YWCAフェスタ2022
2月19日	日本YWCA合同会議
毎月1回	総幹事会

■関係団体

愛知県青少年団体連絡協議会、愛知県青少年育成県民会議、防災のための愛知県ボランティア連絡会、名古屋市男女平等参画推進会議、公益財団法人愛知県国際交流協会、公益財団法人アジア保健研修所、公益財団法人名古屋YMCA、公益社団法人日本語教育学会、社会福祉法人名古屋キリスト教社会館、名古屋キリスト教協議会、認定特定非営利活動法人名古屋NGOセンター、あいち沖縄会議、特定非営利活動法人日本フェミニストカウンセリング学会、性暴力禁止法をつくろうネットワーク、秘密法と共謀罪に反対する愛知の会、未来につなげる・東海ネット、東海日本語ネットワーク、東海キリスト者災害ネット（TCDN）、フラワーデモ名古屋

■役員等

- ・公益財団法人アジア保健研修所 評議員
- ・社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 評議員
- ・特定非営利活動法人名古屋NGOセンター 理事
- ・名古屋キリスト教協議会 役員
- ・名古屋市男女平等参画推進会議 委員

会議等

■評議員会 任期 2019年6月9日～2023年6月評議員会まで

<評議員> 岡田淳子、草地大作、雑賀正浩、榊原千鶴、富澤孝、中村隆、羽佐田美千代、日高伴子、湧井規子

開催日	報告事項	審議事項	人数
6月16日 定時	2022年度4・5月主要事業 ウクライナ支援	2021年度事業報告案承認 2021年度決算案承認	8
3月23日 臨時	2022年度主要事業 将来計画について	2023年度事業計画案承認 2023年度予算案承認	7

■理事会 任期 2021年6月16日～2023年6月理事会まで

代表理事 加藤佐紀子

業務執行理事（事務局長）西田文乃

業務執行理事 岩田えり子、吉兼亜古

理事 國枝京子、谷川いづみ、田中眞希子

監事 近藤眞由美、夏目とよ子

開催日	報告事項	審議事項	人数
5月31日 通常	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2021年度臨時評議員会 ・運営委員会 ・不動産賃貸事業 ・会館管理委員会 ・人事委員会 ・2021年度管理費決算 ・日本語学校 ・2022年度名古屋市「困難を抱える女性のつながりサポート事業」 ・ウクライナ支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度事業報告案承認 ①2021年度事業報告案説明 ②監査報告 ・2021年度決算案承認 ①2021年度決算案説明 (顧問会計士による) ②監査報告 ・日本語学校学則変更 ・子どもとユースのためのセーフガーディング・ポリシー策定 ・将来計画 	9
7月28日 臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2022年度4月～6月事業 ・2022年度4月～6月会計 ・運営委員会 ・不動産賃貸事業 ・会館管理委員会 ・人事委員会 ・日本語教師養成事業 ・愛知県定期提出書類 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来計画 ・建物賃貸借会社との契約更新 	9

開催日	報告事項	審議事項	人数
10月27日 臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2022年度7月～9月事業 ・2022年度4月～9月会計 ・運営委員会 ・不動産賃貸事業 ・会館管理 ・人事委員会 ・広報ファンドレイジング委員会 ・名古屋市「困難を抱える女性のつながりサポート事業」(ナゴ女*つながーる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポート校設置 ・その他新規事業 ・一部委員会の廃止 ・評議員、役員の職務に要する弁償 ・2023年度予算方針 ・2023年度主要管理費予算 ・他団体役員 ・ソフトバンク携帯基地局設置 	9
12月15日 臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・運営委員会 ・会館管理委員会 ・人事委員会 ・サポート校設置進捗状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度推定決算及び2023年度予算案 ・2022年度LED照明器具更新工事 ・評議員、役員の職務に用する弁償 ・2023年3月臨時評議員会開催 	9
1月31日 通常	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・2022年度10月～12月事業 ・2022年度4月～12月会計 ・運営委員会 ・会館管理委員会 ・人事委員会 ・不動産賃貸事業 ・日本語教師養成事業 ・サポート校設置進捗状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業計画案 ・2022年度推定決算及び2023年度予算案 ・2022年の全体集会 ・職員の兼業・副業 ・サポート校設置 	9
3月2日 臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・日本YWCA ・運営委員会 ・会館管理委員会 ・人事委員会 ・名古屋市「困難を抱える女性のつながりサポート事業」(ナゴ女*つながーる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)会館チーム ・名古屋YWCA学院日本語学校奨学金規程改定 ・顧問弁護士契約更新 ・顧問税理士事務所契約更新 ・全体集会報告 ・サポート校設置に関する ・2023年度賛助会員募集 	9

隣接ビル3棟の解体工事

今年度は、隣接ビルの解体に伴う騒音、振動に悩まされた年であった。2020年6月に第一生命保険株式会社、鹿島建設株式会社、株式会社ノリタケカンパニーリミテドの3社共同でオフィルビル開発に関する検討を開始するとプレス発表があり、その後、2021年12月に、鹿島より建築概要が定まったと連絡があった。その頃には、同3社ビルのテナントは退去を順次しており、2022年3月より、内装解体が始まった。

隣接ビルの解体の影響は、想像以上のものであった。コンクリート、鉄骨などを重機が打ち壊していく音が耳をつんざき、西側（工事現場側）の部屋や1階では、隣の人の声も聞きとれない程であった。加えて、解体の内容によっては振動もひどく、エレベーターが地震と間違えて自動停止したことが何度かあった。この騒音と振動は2022年の12月いっぱいまで続いた。少しでも音が少ない部屋求めて、各事業部とも苦心を重ねた。1年を通しての部屋提供の契約が騒音、振動の影響で打ち切られる事業部もあり、収入にも影響が及んだ。



隣接ビルの解体で見えるようになった
名古屋YWCAビル

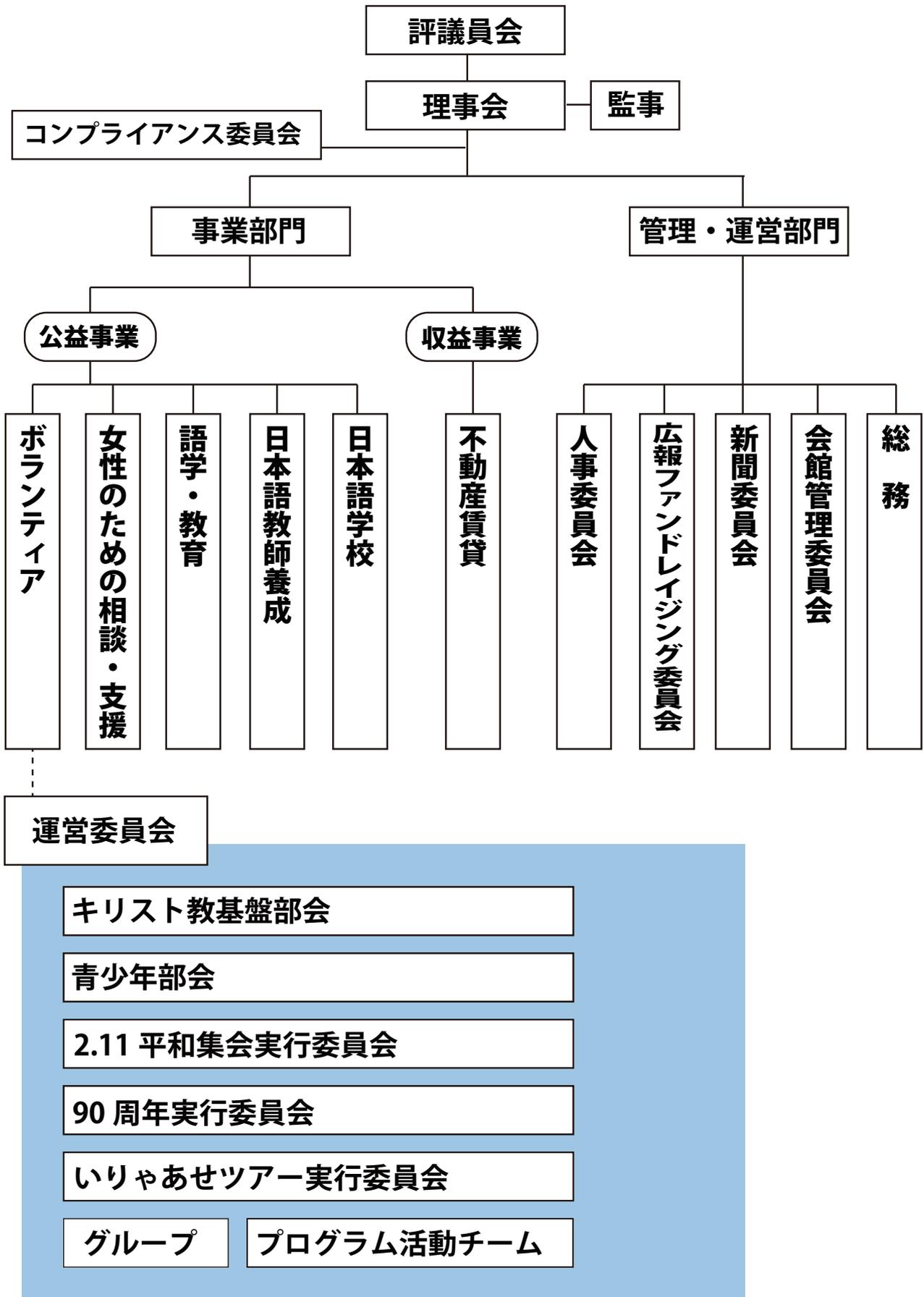


名古屋YWCAビル2階ロビーから

<職員>

総幹事（事務局長）		西田 文乃
幹事	ボランティア事業部責任者、コンプライアンス 女性のための相談・支援事業部責任者 語学・教育事業部責任者 日本語教師養成事業部責任者 日本語学校事業部 財務責任者、労務、総務、不動産賃貸事業部 広報ファンドレイジング・新聞、総合受付 会計、総務、会館管理	吉澤（岡）道子 岩田 えり子 朴 亜紀子 和田 貴子 本多 淑子 吉兼 亜古 下方 夕子 轡田 容子 河瀬 菜緒美
嘱託職員	日本語教師養成事業部	
校長（非常勤）	日本語学校事業部	磯村（羽生）美保子
専任講師	日本語学校事業部	谷山（神谷）文子 久田 かおり
パートタイマー	日本語教師養成事業部	岩崎 陽子 加藤 智恵子 鷺谷 玲子 疋田 絵津 森口 涼子 山田 由美子 米倉 由光 秋田 直美 間宮 由貴江 村上 沙智代 翁長 直美 成瀬 友美 伊藤 嘉奈子 井上 圭輝 吉崎 伸予 渡邊 洋美 中島 優子
	日本語学校事業部	
	語学教育事業部	
	総合受付	
	会計	

公益財団法人名古屋YWCA組織図



貸借対照表

2023年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	3,003,852	2,718,129	285,723
普通預金	150,445,666	140,420,834	10,024,832
定期預金	70,000,000	70,000,000	0
現金預金合計	223,449,518	213,138,963	10,310,555
(2) その他流動資産			
商品	308,498	340,853	△32,355
未収金	48,169,480	41,274,877	6,894,603
前払金	2,017,466	579,363	1,438,103
繰延税金資産	626,482	210,553	415,929
その他流動資産合計	51,121,926	42,405,646	8,716,280
流動資産合計	274,571,444	255,544,609	19,026,835
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	19,109,000	19,109,000	0
基本財産合計	19,109,000	19,109,000	0
(2) 特定資産			
奨学基金特定資産	10,324,172	10,478,126	△153,954
特別修繕引当特定資産	57,700,000	53,100,000	4,600,000
管理目的保有特定資産	9,113,490	9,446,358	△332,868
特定資産合計	77,137,662	73,024,484	4,113,178
(3) その他固定資産			
建物	239,882,033	250,370,252	△10,488,219
建物附属設備	40,843,095	44,477,376	△3,634,281
構築物	150,083	168,443	△18,360
什器備品	7,119,484	2,803,434	4,316,050
図書	816,130	816,130	0
ソフトウェア	1,110,038	1,956,435	△846,397
電話加入権	238,008	238,008	0
保証金	20,000	20,000	0
繰延税金資産	16,678,500	15,344,220	1,334,280
その他固定資産合計	306,857,371	316,194,298	△9,336,927
固定資産合計	403,104,033	408,327,782	△5,223,749
資産合計	677,675,477	663,872,391	13,803,086
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	44,068,019	55,196,705	△11,128,686
前受金	32,900,401	27,971,348	4,929,053
預り金	2,551,225	1,581,910	969,315
賞与引当金	1,503,077	1,455,301	47,776
未払法人税等	6,596,600	1,846,300	4,750,300
流動負債合計	87,619,322	88,051,564	△432,242
2. 固定負債			
預り敷金	70,880,800	68,273,440	2,607,360
特別修繕引当金	57,700,000	53,100,000	4,600,000
固定負債合計	128,580,800	121,373,440	7,207,360
負債合計	216,200,122	209,425,004	6,775,118
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄附金	2,902,560	4,126,490	△1,223,930
受贈土地	19,109,000	19,109,000	0
指定正味財産合計	22,011,560	23,235,490	△1,223,930
(うち基本財産への充当額)	19,109,000	19,109,000	0
2. 一般正味財産	439,463,795	431,211,897	8,251,898
(うち特定資産への充当額)	16,535,102	15,797,994	737,108
正味財産合計	461,475,355	454,447,387	7,027,968
負債及び正味財産合計	677,675,477	663,872,391	13,803,086

正味財産増減計算書

2022年04月01日から2023年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,435	1,312	123
特定資産運用益計	1,435	1,312	123
受取会費			
正会員受取会費	1,252,000	1,281,000	△29,000
賛助会員受取会費	86,000	88,000	△2,000
受取会友費	45,000	75,000	△30,000
受取会費計	1,383,000	1,444,000	△61,000
事業収益			
受取プログラム	638,770	587,775	50,995
受取カウンセリング	3,462,890	2,724,380	738,510
受託事業収益	56,889,396	27,534,810	29,354,586
子ども学習支援収益	1,599,984	1,411,192	188,792
受取入学検定料	514,200	339,800	174,400
受取入学金	2,002,500	1,223,800	778,700
受取授業料	50,286,878	42,490,764	7,796,114
受取設備維持料	468,000	333,300	134,700
受取教材料	3,714,327	2,645,396	1,068,931
受取別科申込金	886,000	536,000	350,000
受取別科授業料	14,035,770	12,129,540	1,906,230
受取教材販売	512,300	430,560	81,740
賃貸料収益	103,036,466	98,092,659	4,943,807
室・器具使用料収益	2,928,233	2,047,687	880,546
その他収益	641,160	627,792	13,368
事業収益計	241,616,874	193,155,455	48,461,419
受取補助金等			
受取補助金等振替額	44,764	20,026	24,738
受取公共助成金振替	0	705,483	△705,483
受取民間助成金振替額	1,501,050	3,362,500	△1,861,450
受取補助金等計	1,545,814	4,088,009	△2,542,195
受取寄付金			
受取一般寄付金	415,907	1,348,802	△932,895
受取寄付金振替額	8,020,981	5,563,661	2,457,320
受取寄付金計	8,436,888	6,912,463	1,524,425
雑収益			
受取利息	1,599	1,390	209
雑収益	2,458,427	3,837,652	△1,379,225
雑収益計	2,460,026	3,839,042	△1,379,016
経常収益計	255,444,037	209,440,281	46,003,756
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	27,598,804	27,155,449	443,355
雑給	9,092,108	8,568,627	523,481
福利厚生費	9,473,196	11,017,964	△1,544,768
賞与引当金繰入額	1,399,700	1,282,061	117,639
特別修繕引当金繰入額	4,558,860	4,551,452	7,408
講師費	43,860,855	37,935,913	5,924,942
講師交通費	3,248,584	2,306,029	942,555
教材費	1,770,257	1,136,112	634,145
教材研究費	37,314	51,048	△13,734
図書費	31,580	5,329	26,251
プログラム費	2,685,579	2,353,657	331,922

正味財産増減計算書

2022年04月01日から 2023年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
子ども学習支援費	2,919,904	2,840,784	79,120
つなサポ事業費	25,358,500	15,033,638	10,324,862
広告宣伝費	1,506,285	1,494,017	12,268
会議費	199,736	262,767	△63,031
旅費交通費	236,183	92,330	143,853
事務費	524,213	381,797	142,416
通信費	1,113,047	1,189,562	△76,515
資料研修費	165,293	39,427	125,866
指導者養成費	377,315	196,869	180,446
関係団体費	27,000	41,000	△14,000
支払名古屋Y機関紙	257,739	265,099	△7,360
管理委託費	19,208,441	17,870,660	1,337,781
減価償却費	16,916,112	20,642,583	△3,726,471
消耗什器備品費	8,278,660	931,020	7,347,640
修繕費	9,375,812	11,288,151	△1,912,339
光熱水料費	7,177,158	5,132,741	2,044,417
保険料	765,231	714,315	50,916
租税公課	14,077,349	13,552,339	525,010
支払寄付金	310,000	536,000	△226,000
奨学金	1,358,148	1,836,294	△478,146
報酬手数料	5,935,380	5,918,883	16,497
消費税	12,557,471	10,925,798	1,631,673
雑費	1,469,755	825,804	643,951
予備費	0	0	0
事業費計	233,871,569	208,375,519	25,496,050
管理費			
給料手当	2,954,947	5,300,483	△2,345,536
雑給	539,075	336,925	202,150
福利厚生費	956,085	1,643,067	△686,982
賞与引当金繰入額	103,377	173,240	△69,863
特別修繕引当金繰入額	41,140	48,548	△7,408
会議費	111,847	74,189	37,658
広告宣伝費	117,056	245,894	△128,838
旅費交通費	53,782	32,040	21,742
事務費	13,022	30,540	△17,518
通信費	21,355	56,643	△35,288
資料研修費	28,750	6,136	22,614
指導者養成費	30,515	21,361	9,154
関係団体費	83,670	76,606	7,064
支払負担金	307,700	290,700	17,000
支払名古屋Y機関紙	36,818	37,871	△1,053
支払日本Y加盟費	1,814,000	1,997,000	△183,000
管理委託費	297,271	326,752	△29,481
減価償却費	245,338	298,259	△52,921
消耗什器備品費	157,678	141,977	15,701
修繕費	13,238	93,219	△79,981
光熱水料費	91,567	104,867	△13,300
保険料	11,048	12,358	△1,310
租税公課	185,047	213,634	△28,587
報酬手数料	116,113	125,833	△9,720
雑費	143,739	30,794	112,945
管理費計	8,474,178	11,718,936	△3,244,758
経常費用計	242,345,747	220,094,455	22,251,292
当期経常増減額	13,098,290	△10,654,174	23,752,464
2. 経常外増減の部			

正味財産増減計算書

2022年04月01日から 2023年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
固定資産除却損	1	0	1
固定資産除却損計	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△1	0	△1
税引前当期一般正味財産増減額	13,098,289	△10,654,174	23,752,463
法人税,住民税及び事業税	6,596,600	1,846,300	4,750,300
法人税等調整額	△1,750,209	△1,208,886	△541,323
当期一般正味財産増減額	8,251,898	△11,291,588	19,543,486
一般正味財産期首残高	431,211,897	442,503,485	△11,291,588
一般正味財産期末残高	439,463,795	431,211,897	8,251,898
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	44,764	20,026	24,738
受取地方公共団体助成金	0	705,483	△705,483
受取民間助成金	1,501,050	3,362,500	△1,861,450
受取補助金等計	1,545,814	4,088,009	△2,542,195
受取寄付金			
受取寄付金	6,797,051	5,243,793	1,553,258
受取寄付金計	6,797,051	5,243,793	1,553,258
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△9,566,795	△9,651,670	84,875
一般正味財産への振替額計	△9,566,795	△9,651,670	84,875
当期指定正味財産増減額	△1,223,930	△319,868	△904,062
指定正味財産期首残高	23,235,490	23,555,358	△319,868
指定正味財産期末残高	22,011,560	23,235,490	△1,223,930
III 正味財産期末残高	461,475,355	454,447,387	7,027,968

